



# 荒川区国際交流協会 事務局だより

2018年  
6月号

2018年6月5日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

HP <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: [bunka@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:bunka@city.arakawa.tokyo.jp) Tel: 3802-3798 Fax: 3802-4769

## 今後の事業予定



ウィーン市 ドナウシュタット区

## 派遣高校生が決まりました

現在事前研修を  
行っています！

事務局だより4月号などで募集した、荒川区の友好都市ウィーン市ドナウシュタット区へ派遣する高校生6名(男性3名・女性3名)が決まりました。5月30日(水)に派遣生向けの説明会・第1回事前研修を行い、自己紹介や派遣に対する心構えなどについて研修を行いました。初回なので皆緊張していましたが、研修の終盤では少し打ち解けて笑顔も見られ、良いチームとなりそうです。

今後、ドイツ語・英語の学習や研修テーマの決定・事前調査、現地でのさよならパーティーでの出し物の決定・練習、出発前の区長表敬訪問など、計5回的事前研修を行い、7月28日(土)~8月7日(火)の派遣に備えます。

派遣高校生がウィーンでやってみたいことや意気込みを一部紹介します。

- 将来ヨーロッパに留学するか働いてみたいので、友達を作りたい。
- ハプスブルグ家の遺産が多く残るウィーンで文化財を見てみたい。
- 街全体が世界遺産になっているウィーンの建築物を見てみたい。
- 電車が好きなので、世界一車高が低いウィーンの路面電車のことを調べたい。
- 日本や荒川区の伝統文化を振り返り、その魅力をウィーンで伝えたい。
- マナーや考え方、暮らし方、文化の違いや共通点を体感したい。
- 日本のように数少ない水道水が飲める国、オーストリアの水道水を飲んでみたい。
- 将来教員になりたいので、教育制度が早期に発達した欧州の学校を見学してみたい。
- 荒川区とドナウシュタット区の架け橋になりたい。



ドナウシュタット  
区の紋章

ドナウシュタット区でのさよならパーティーでは出し物をするので、これから内容を決めて、研修日以外にも練習をします。

荒川区の高校生代表として頑張ります！！



## コミュニティ通訳ボランティア スキルアップ勉強会

現在協会の通訳・翻訳ボランティアに登録している方を対象に、コミュニティ通訳ボランティアとして自分のレベルを再認識し、自分のレベルにあった活動を選択して、様々な分野で荒川区の多文化共生が実現できるよう、みんなで一緒に考える機会とします。

**日程** 7月4日(水)

**時間** 13時30分～16時30分

**会場** あらかわエコセンター(荒川1-53-20)  
2階 第2・第3環境研修室

**費用** 無料

**講師** 岩田 久美氏(フリーランススペイン語通訳・翻訳者、講師)

**内容** ①講義: コミュニティ通訳として活動するために～自分の得意分野をしよう!～  
②グループワーク

### 追記

来年度は、新たに通訳・翻訳ボランティアに登録を希望される方向けの「コミュニティ通訳ボランティア養成講座」を実施する予定です。初めての方でも意欲のある方、在住外国人の助けになりたい方、外国語を母国語とする方の応募をお待ちしております。

## 事業報告



### 「川の手荒川まつり」出展の様子を 荒川区ホームページでご覧いただけます

荒川区広報番組「こんにちは荒川区」で、川の手荒川まつりの協会ブース(民族衣装体験コーナー)の様子が、5月14日から20日まで放送されました。

現在は、荒川区ホームページ内で視聴できます(国際交流協会の紹介は27分25秒頃から)。トップページから以下の順に進むかURLを入力してください。  
トップページ→あらかわアラカルト→動画館→荒川区制作広報番組(ケーブルテレビ)→特集→川の手荒川まつり  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kanko/dogakan/cable/tokusyu/tokusyu1288.html>

職員による協会とブースの説明、ポーズをとる子どもたち、レポーターの民族衣装体験の様子が紹介されていますので、ぜひご覧ください。



98人にご参加いただきました

## お知らせ



### ～日本語サロンでのボランティア活動を再開しませんか?～

最近、日本語サロンには多くの国々から若い世代の学習者も参加しています。サロン学習者は、日本での生活や日本語学習のこと、将来の夢にいたるまで日本語で懸命に話しています。社会経験が豊富なボランティアの皆さまとの、幅広い会話を通じて日本の文化を伝えてくださることを学習者も大変喜んでます。

サロンでの交流は、お互いを理解し、様々なことを学べる、楽しくてやりがいのある活動です。他のボランティアや事務局スタッフも、ボランティアOB・OGの活動の再開を心から待ち望んでおります。もちろん初めての方、海外経験がない方も大歓迎です。

再開をご検討されている方は、ぜひ、事務局までご連絡ください!



### 編集後記

荒川区には国内にも29の交流都市があり、先日その1つの茨城県潮来市で田植え体験を実施しました。素足で水田に入り、田植えの合間に子どもたちとカエルを捕まえるなど、荒川ではできない体験ができました。9月の収穫が楽しみです。(安藤)

「事務局便り」をe-mailで配信します!  
ぜひ、ご利用ください!

メール配信の方には、事務局便りだけでなく、オーストラリア観光局の配信等国際交流に関する様々な情報をお届けしております。

是非ご登録ください。詳しくは事務局までご連絡ください。

e-mail: [bunka@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:bunka@city.arakawa.tokyo.jp)